

【言語・嚥下障害のある患者の看護】

食事介助で最も適切なものはどれか。

- 1 頸部を後屈した体位にする
- ② 座位時の体幹を安定させる
- 3 食後に嚥下体操を実施する
- 4 こぼさずに摂取できるように全介助する

問2 高齢者の義歯の取り扱いで最も正しいのはどれか。

- ① 就寝前に外す
- 2 保管する時はよく乾燥させる
- 3 熱湯で洗浄する
- 4 総義歯は奥歯を起点に外す

問3 食事について最も適切でないものはどれか。

- 1 患者の覚醒レベルを確認する必要がある
- 2 食後に口腔内や咽頭の残渣を確認する
- ③ 入院後、食事を開始するタイミングは、状態に関わらず早ければ早いほど良い
- 4 経過的に、発熱・炎症反応や呼吸状態の変化など、誤嚥徴候の有無を観察する

問4 失語症について誤っているものはどれか。

- 1 失語症とは「話す」「聞く」「読む」「書く」などの言語的側面が障害されている
- 2 言語障害は多様なため患者毎の症状を把握し、話しやすい環境を提供する
- 3 稚拙な話し方をされることがあるが、人格を尊重しコミュニケーションを取る
- ④ 外見から症状がわかりやすいため、他者から援助を受けられることが多い

問5 ウェルニッケ失語(感覚性失語)が生じやすい病巣は1~3のうちどれか。○をつけたい。

